

日本リビングウイル研究会

初の東北地方会開催

『こころり願望』は遂げられるのか

わが国に古くから庶民に根差していた「こころり信仰」。「健やかに生き、安らかに逝きたい」尊厳死・自然死の思想とも相通じます。元気に長生きし、亡くなる時には周囲にあまり迷惑をかけることなく、「こころり」と逝きたい願望です。今、「びんびんこころり信仰」、「こころり願望」は果たして、遂げられるのでしょうか。似た願望を持つ「尊厳死」、「自然死」もまた、その願いが叶えられるのでしょうか。この願いを妨げるものは、何でしょうか。

民俗学、宗教学、死生学の立場からの基調講演を中心に、生死を分ける救急救命の現場と在宅での介護・治療、患者・家族からのご発言も加え、こうした「自然死」を妨げる諸問題について掘り下げて考えます。

3月16日(日) 午後1時30分 - 4時30分 (2014年)

せんだいメディアテーク 7階「スタジオシアター」

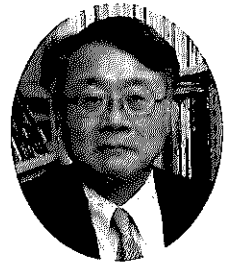
(仙台市青葉区春日町2-1) 電話 022-713-3171

第1部 基調講演

「庶民に根差す『こころり信仰』—各地に見る実際」

東北大学大学院文学研究科教授
(死生学・宗教民俗学)

鈴木 岩弓



第2部 ワークショップ

座長 日本尊厳死協会常任理事・東北支部長 橋村 襄

演題1 「自然死を妨げるもの、その課題」

日本リビングウイル研究会代表幹事(日本尊厳死協会理事長) 岩尾總一郎

演題2 「『生かす命』と『生かされる命』—救急医療現場でのジレンマ」

前東北大学病院高度救命救急センター長・東北大学名誉教授・国際医療福祉大学救急診療部長 篠澤洋太郎

演題3 「緩和医療の役割と医療態勢の充足度は…」

在宅で緩和医療を進める 医療法人社団 爽秋会 認定外科医師 河原 正典

演題4 「がん患者を看取った体験からの報告」

患者家族代表 内野 隆雄

(敬称略)

参加費 無料

会員・一般の方 どなたでもどうぞ

定員 190人 (満席の場合、
予約者を優先します)

会場への交通案内

仙台駅西口バスプール⑮番から「春日町」下車
(100円)

予約・問い合わせ先

日本尊厳死協会東北支部

電話 022-217-0081 fax 022-217-0082

